

## 令和5年度 GKP 広報大賞 エントリーシート

<p>団体名</p> 	<p>団体区分 (混成の場合は複数☑)</p> <p><input type="checkbox"/> 行政</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 民間</p> <p><input type="checkbox"/> 学校・NPO・個人等</p>
<p>取組名</p> <p>未来の水を考えるきっかけに 絵本 「みずは、どこから？」 発行！</p>	
<p>責任者 (実際に広報に取り組んだチームの代表者)</p> <p>氏名： 山本 郁生</p> <p>所属： 株式会社アイ・ケー・エス 企画室</p> <p>電話： 0225-96-6420</p> <p>E-mail： i.yamamoto@e-iks.jp</p>	
<p>担当チームの構成 (外部人材を活用している場合や外部委託をしている場合等は、その旨記載して下さい)</p> <p>&lt;当社社員&gt; 絵本プロジェクト企画・調整：3名</p> <p>&lt;協力会社&gt; 文：株式会社口笛書店 近江 瞬 (編集者) 絵：株式会社巻組 佐藤 優花 (イラストレーター) 印刷：三松堂株式会社</p>  	
<p>取組のポイント (一言でいうとどういう取組かを、箇条書き等で記載して下さい)</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>子どもたちの心に残る「水文大循環と水利用」をテーマとした絵本を発行</u></li> <li>● <u>世代を超えて大切にもらえる1冊に仕上げる</u></li> <li>● <u>より多くの子どもの手に取ってもらえるように「寄贈と販売」を実施</u></li> </ul>	
<p>アピールポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☑ 地元出版社と地元企業の理解と協力を得て構想段階からつくりあげた 石巻産の絵本。</li> <li>☑ 構成は「絵本パート」と「調査・実験パート」とに分かれ、小学校低学年から小学校高学年に至るまで、さらには親子間で学習の意欲を高められるように工夫。</li> <li>☑ 絵本パートは、より印象に残るように「抽象的」に。調査パートは、より興味と関心を深掘りすることができるように「具体的で実践的」に。</li> <li>☑ 「一杯のコップの水」がどこから来るのか。水を巻き戻すことで水の大切さを知る物語を表現した今までになかった絵本を制作。</li> </ul>	
<p>要したコスト</p> <p>絵本「みずは、どこから？」1冊あたりの原価：855円 (1,000冊制作)</p>	

**取組の概要**（適宜、写真や図等を挿入して下さい。複数年度にわたる取組の場合は、その旨記載して下さい）

### ◎ 背景（絵本プロジェクト発足）

2021年11月、地元出版社の協力のもと絵本プロジェクトが発足した。絵本をつくるきっかけは、上下水道事業の社会問題として挙げられる3つの大きな課題<sup>※</sup>について、次世代に残される可能性が高いことに対して企業として出来ることはないかと考えるに至った経緯から。

水は常時自然循環する特異な資源であること、人はその恵みを当然のこととして利用していること。これらのことを物語で描けば、子どもたちが未来の水利用を考えるきっかけになるのではとの思いで絵本づくりがスタートし、構想から2年で完成した。※) ①料金収入の減少 ②施設や配管の老朽化、耐震化 ③技術者の老年化、不足

### ◎ 目的

子どもの心にのこる絵本をつくり、水利用に対する興味の礎にする

### ◎ 絵本を読んでもらうための工夫

・ 絵本の対象者は幼児から小学校高学年まで幅広く

#### 【ボトルネック】

面白くない、分かりにくい、難しい、字が多いなど

#### 【工夫】

幼 児：親が楽しく読み聞かせできるように、優しくかわいらしいイメージのイラストを採用。出てくる生き物たちもかわいらしく表現。

小学低学年：「絵本パート」は簡単な漢字が一人でも読めるレベルに。ひらがなとルビで構成。

小学高学年：「調査・実験パート」で具体的に学べる。

・ 本棚に残る1冊に

大人になっても思い出して読み返せるように、さらにその子どもたちにも読み聞かせできるように、絵本はハードカバーとし素材は上質で丈夫なモノを選択した。

・ 寄贈と販売

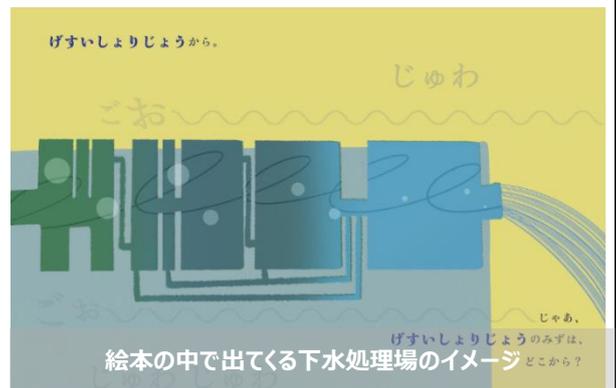
当社に係る4市2町の図書館や小学校の図書室、子育て支援施設、放課後児童クラブなどに寄贈するとともに、地域の本屋の協力を得て1冊500円（税込）で販売を行う（12月より石巻市内と仙台市内で販売開始）。売り上げの全てを水に関わる事業に寄付する。

・ JANコード取得

絵本「みずは、どこから？」はJANコード（バーコード）を取得したため、POSシステムのある小売業者に置いてもらいやすくなった（例えば文房具店など）。



幼児から小学校高学年まで幅広く読まれるように  
優しくかわいらしく、簡単で、学べる絵本を目指した



絵本の中で出てくる下水処理場のイメージ



本屋で販売されている様子

**成果**（数字を交えるなど、できるだけ具体的に記載して下さい）

- ・ 11月末現在297施設に寄贈済み。さらに233施設に寄贈予定（全580冊を寄贈する計画）。
- ・ 下水道施設開放イベント（流域下水道まつり 10/7開催）で、施設見学に参加した500名の子どもたちに冊子版を配布した。

